小栗上野介情報　58

２０１４（平成２６）年　７月

発行　東善寺　　住職　村上泰賢

群馬県高崎市倉渕町権田（ごんだ）１６９

〒：370-3401　℡＆fax：027-378-2230

振替　00120-1-406206　東善寺

ホームページ http://tozenzi.cside.com/　　Eメール：sharmila@theia.ocn.ne.jp

小栗上野介父子主従＆村人非命没後146年（147回忌）

5月25日　東善寺で―　小栗まつり

▲献香するデュオメ仏大使館武官と吉田雄人横須賀市長

墓前祭

小栗公顕彰事業を通して正しい歴史観を学ぶことにより、平和な社会の実現を目指して参りたいと 市川平治小栗上野介顕彰会会長が追悼の辞を述べ、吉田雄人横須賀市長、フランソワ・デュオメ仏大使館付武官、板橋横須賀市議会議長など来賓や、全国からたくさんの参加者が墓参し、献香を行った。

式辞　　市川平治顕彰会長

…時は流れて146年、近代日本の礎を築き、新しい国の姿を夢見た小栗公の目には、現在の日本の姿がどの様に映っていることでしょうか。私たちは、小栗公顕彰事業を通して正しい歴史観を学ぶことにより、平和な社会の実現を目指して参りたいと思います…

祝辞　　吉田雄人横須賀市長

…わが国の近代化の一つが横須賀製鉄所の建設で、その後日本が世界有数の造船国、工業国となる礎となりました。小栗上野介公が実施しようとした施策はそのまま明治政府に引き継がれ日本の近代化が図られました…

▲ 祝辞を述べる吉田雄人横須賀市長　「来年は横須賀製鉄所「創設150周年」を迎え、記念事業などを通じて小栗公の業績を次世代に引き継いでいきたい…」

記念演奏　♪～

倉渕中学校音楽部が吹奏楽「小栗のまなざし」を演奏し、**群馬マンドリン楽団**がポピュラー曲などのあとに、マンドリン曲にもなった「小栗のまなざし」を演奏。マンドリンと 朗読による「維新無情」は「聴いているうちに胸が詰まって…」という感想をいただきました。

紙芝居　　**「小栗上野介の生涯」**

展示「遣米使節小栗忠順の世界一周の旅」の資料をパネルで展示

昼市（１１時～オープン）小栗上野介関連の土地の物産を即売

小栗上野介・幕末の歴史ファンのたのしい出会いの場となりました。横須賀の海軍カレー・広島の海軍コーヒー・マス塩焼・ヤキトリ・地酒・ビール・まんじゅう・漬物など農産加工品・キノコ・小栗最中・小栗幕末関連書籍・団子・梅干・陶芸などのほか、無料のなめこ汁・甘茶も好評で、好天に恵まれ楽しんだ一日でした。

講　演

いま小栗上野介から何をまなぶか

作家　　**童門　冬二　氏**

▽…「地方人・国民であり・国際人」である自覚、小栗さんははじめからこの考えを持っていました。そしてこの意識がアメリカに行ってよけい眼が開かれて、常にこの三つを頭に入れていた。

▽西郷の指示で行った御用盗の首領相楽総三（さがらそうぞう）もニセ官軍として全員諏訪大社の秋宮で殺されています。東山道軍だけが赤報隊の処刑、小栗上野介と又一親子の斬首、板橋で近藤勇の斬首を行っている。▽小栗さんは江戸っ子。江戸っ子の気風もやはり気前がいいとか、宵越しの銭は持たないとか、弁解はしないとか…これは群馬県民の気質ですね。気っぷがいいとか、金払いがいいとか、こういう爽やかな気質は、江戸っ子気質だと言ってるけど本当は群馬の人が江戸に入ってきて伝えたのじゃないかな（笑）

【小栗上野介顕彰会機関誌『**たつなみ**』３９**号**に全文掲載】

情報あれこれ

❒群馬日仏協会
旧横須賀造船所ツアー

▽群馬日仏協会は６月４日（水）住職のガイドで旧横須賀造船所（いま米海軍横須賀基地）に、日仏交流の原点となった小栗上野介の業績を訪ねました。基地司令部玄関ホールに掲示された小栗上野介と仏人技師長ヴェルニーの写真や、幕末から５年かかりで手掘りで掘ったドライドックなどの遺構を見学、富岡製糸場や中島飛行機につながる日本産業革命の地となった横須賀造船所の意義を確認しました。

❒　小栗上野介祈念館建設の計画

東善寺では小栗上野介父子主従と殉難の村人の追悼供養と業績確認のための小栗上野介祈念館の建設を計画しています。

▽「…罪なくして此所に斬らる」と水沼河原の顕彰慰霊碑にあるように、小栗上野介父子主従とその家族、村人の非命を供養し、併せて傑出した人物小栗上野介の幕末における日本近代化の業績を、資料を通して確認出来る施設を建設する計画です。

▽現在は建設の設計段階で、これから細部の設計をすませ、境内の立地環境整備を済ませてから着工する予定です。

▽寺の境内の一隅に設置するささやかなものとなりますが、参拝の方にわかりやすいビジュアル機器を設置すると経費がかさみますので、多くの方のご理解をいただき後日発表する要項でご支援をお願い申し上げる予定です。

❒道の駅くらぶち小栗の里で特別展示　5月11日～6月8日

「小栗上野介―横須賀造船所―富岡製糸場」

▽４月２６日にオープンした道の駅「くらぶち小栗の里」の展示室で小栗まつりに合わせて表記の特別展示を行いました。

▽幕末に小栗上野介が建設を推進した横須賀造船所のＤＮＡが群馬県には二つ伝わっている。①**富岡製糸場**…建物を横須賀造船所の仏人技師が建築したばかりでなく、運営のノウハウも横須賀造船所にならっているところがたくさん。②**中島飛行機**（いま富士重工・スバル）…創業者の中島知久平は「横須賀海軍工廠の海軍機関学校」で学び、太田に飛行機会社を興しています。

❒小栗道子夫人の実家　建部（たけべ）家の家紋入りの　馬の鞍（くら）　見つかる

◀　寺の古い土蔵を解体していて馬の鞍があり、ホコリを払うと家紋がついている。念のため調べると、小栗道子夫人の実家で播州（姫路市）林田藩主（一万石）建部家の家紋「三ツ蝶」でした。

▽道子夫人は藩主建部政醇（まさあつ）の娘で、美人の誉れ高い人でした。小栗忠順に嫁ぐときに家臣の塚本真彦も従って小栗家へ移りましたから、この鞍はたぶん塚本が使用して主君小栗公に従っていたいたものと思われます。

▽塚本は高崎城内で小栗又一と共に西軍に斬首され、小栗道子夫人は権田の村人に護衛されて会津へ逃れましたが、塚本一家は七日市藩（富岡市）をめざして逃（のが）れる途中、塚本夫人はこのままでは共倒れになると幼女二人を川に沈め男児だけ背負って逃れ、二手にわかれた祖母と孫娘は地蔵峠近くの山中で自害する悲劇に遭っています。

▽本年は小栗主従と村人の非命没後１４７回忌にあたります。寺の土蔵にポツンと残されていたゆかりの鞍が見つかって、塚本一家の悲劇を思い起こさせてくれました。

◀　祖母と孫娘が自害した「自決の場」碑（地蔵峠の西の山中）

会員になって下さい――――　東善寺　たつなみ会

倉渕町の小栗上野介顕彰会では機関誌『たつなみ』を発行(年1回)しています。東善寺の「たつなみ会」会員になっていただけば、「小栗上野介情報」や「東善寺だより」など、東善寺発行の小栗上野介・幕末関連の最新情報とともに、『たつなみ』誌を発行のつど顕彰会から買い上げてお送りし、機関誌代が顕彰会の活動資金となっています。倉渕地区の人口減で顕彰会員が減っていますので、「たつなみ会」会員の増加を期待します。　口会費　年１３００円

口お申し込みは：東善寺へメールまたは電話、ハガキで　口ご送金は郵便振替「東京００１２０－１－４０６２０６東善寺」へ